

福島大学市民講座 × 相双地方のこれからを考える会

こども・若者の「居場所」から考える これからの地域づくり

～こども・若者と地域をつなぐ、みやっこベースの実践～

震災復興の中で、高校生のまちづくりへの参加から始まったみやっこベースの活動。13年にわたる実践から、こども・若者が地域で豊かに過ごし、将来も関わり続けたい地域とは何か。宮古市での実践から、人口減少時代の地域づくりと行政の役割を考えます。

公開講座のため
どなたでも参加OK!



講師：早川 輝 氏
NPO法人 みやっこベース
理事長

講師プロフィール

福岡県北九州市出身、岩手県宮古市在住。
東日本大震災を機に2011年6月に宮古市へ
入り、災害ボランティアや復興支援活動に
従事。高校生との関わりをきっかけに、
2013年「ユースみやっこベース」を設立
し、高校生の復興・まちづくりへの参画を
支援してきた。

現在は「未来のはじまりを、共に創る」を
ミッションに、こども・若者の居場所づく
りや体験機会の創出、地域ぐるみの教育活
動などに取り組んでいる。

2026年 11月16日 月

時間 10:30-12:00 受付 10:00～

会場 大熊町交流施設 linkる大熊 多目的ホール
(大熊町大字大川原字南平1207-1)

対象 「居場所づくりの取り組み」に関心のある方
浜通り地域以外の方も大歓迎です!

定員 40名 (事前申込優先)

受講料 無料

お申込 チラシ下部の二次元コード
お電話でお申込みください

「相双地方のこれからを考える会」とは?

浜通り12市町村(相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、
大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、新地町)の若手・中堅職員による研修会。

2026年度は全5回実施し、東日本大震災による課題が山積する浜通り地域に
おいて、その解決に対するアクションを検討し、市町村の枠を超えた広域連
携を意識した視点や考え方を醸成することを目的にしている。

福島県相双地方振興局が主催、福島大学地域未来デザインセンターが協力。

主催 福島大学地域未来デザインセンター

協力 福島県相双地方振興局

お問合せ

☎ 0244-26-3685 ✉ r435@ipc.fukushima-u.ac.jp 担当：伊藤

※本事業は、福島大学が受託する福島県委託事業として実施します

申込はこちら

